

広見地区

まちづくり協議会新聞

第12号

発行日 令和7年3月18日
発行者 広見地区まちづくり協議会
〔事務局〕 広見まちづくりセンター
住所 富士市石坂470番地の5
電話 (21) 3444

広見荘廃止に合意

令和7年3月30日に閉館

広見地区まちづくり協議会は、令和4年3月29日の富士市社会福祉センター事業審議会答申を受け、これまでに市役所福祉総務課と広見荘の存廃について協議を進めてきました。その結果をふまえて地区まちづくり協議会は、市福祉総務課に対し、利用者に寄り添った対応を約束するよう求めました。



期間は令和7年3月末まで1年間更新をすることになりました。また、令和6年2月には、市福祉総務課が広見荘利用者に対し「広見荘が廃止になった場合の過ごし方」についてアンケートを実施しました。その結果をふまえて地区まちづくり協議会は、市福祉総務課に対し、利用者に寄り添った対応を約束するよう求めました。

立候補を表明

指定管理者制度導入にむけて

広見地区まちづくり協議会は、11月20日(水)午後7時から広見まちづくりセンター集会所において、「地区まちづくりセンター指定管理者制度導入の立候補の意思表明について」を議題とし臨時総会を開催し、全会一致により承認を得ました。この結果を受け、まちづくり協議会は令和8年度からの指定管理導入地区として、市まちづくり課へ立候補を表明しました。

なお、現時点においては、指定管理者制度導入の立候補をした状態です。今後、市との協議等各種手続きを踏まえ、最終的に富士市議会において承認された場合、令和8年4月から広見地区まちづくり協議会が指定管理者として、広見まちづくりセンターの運営を担うこととなります。

令和7年度の動き

- ▶一般社団法人化
まちづくり協議会が法人格をもちます
- ▶指定管理者選定評価委員会審査を通過
地区が提出した事業計画をもとに指定管理候補者として選定されます
- ▶市議会にて議決
- ▶基本協定書の締結
地区と市が5年間の「まちづくりセンター管理に関する協定書」を取り交わします

令和8年度 指定管理スタート

指定管理者制度とは

地方公共団体（富士市）によって指定された指定管理者が、公の施設の管理運営を代行するという法律に定められている制度です。富士市では、富士市民活動センターや富士交流プラザなどにおいて指定管理者制度が導入されています。



立候補までの軌跡
6月
○町内会長を対象とした地区説明会開催

指定期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで
※次期期間からは5年ごとに更新します

業務内容

《管理運営業務》
貸館業務、清掃、警備、軽微な修繕、廃棄物処理等
《市民からの相談、問い合わせに関する窓口への連絡調整》
《市関係各部署からの依頼業務》
まちづくり課が市の各部署から協力依頼を受託した業務、社会教育課主催講座の協力
《自主事業の企画及び実施》
地区の自由な発想による事業実施（コミュニティビジネス等）

実施体制

職員は午前8時30分から午後5時15分まで、常時2人以上（土・日は1人以上）
午後5時15分から午後9時30分までの間は、常時1人以上の職員を配置
※平日午後5時15分以降及び、日曜日全日は、職員に代えて委託職員などによる対応可

指定管理料に含まれる経費

- ①人件費：給料、交通費、法定福利費等
- ②事務費：消耗品費、新聞購入費、コピー代、備品費、自主事業の講座講師手数料、防火管理講習受講料等
- ③施設費：光熱費、修繕料、電話使用料、清掃業務委託料等
- ④消費税相当額

地区のまちづくり活動に関するアンケート調査へのご協力ありがとうございました。

今回のアンケート結果は、今後のまちづくり活動をより身近で、住民のみなさんの思いに寄り添ったものにするための参考として活用いたします

- 調査概要（3月7日時点）
- 1.調査対象
中学生以上の広見地区全住民
 - 2.調査方法
回答用紙またはインターネットによる回答
 - 3.配布数 8981
 - 4.回収数 6677
(うちQRコードによる回答 1402)
 - 5.回答率 74.3%



令和7年度からのふれあいテラス
広見の運営については、後日詳細をお知らせします。



広見地区のことをもっと知りたい！

HIROMI

NEWSLETTER

EVENT 広見福祉フェスティバル2024

世代を超えたつながりをつくろう！

令和6年5月26日(日)に広見まちづくりセンターで、福祉部会の事業である「広見福祉フェスティバル」を実施しました。フェスティバルはノーマライゼーションの理念のもと、広見地区に住むあらゆる年齢の方が福祉体験を通して、ふれあいと交流の輪を広げることが目的として実施しており、令和6年度で第15回目を迎えました。

舞台では、ふじひろみなどの皆さんが元気に踊りを披露してくれました。また、福祉に関連する体験ブースや、広見商店街の保科精肉店さんや佐野笑店さんをはじめとする多くのキッチンカーが来場者を楽しませていました。

当日は約2000人の方が来場し、世代を超えた多くのつながりを作ることができました。皆さんからいただいた改善点を活かしながら、令和7年度は5月25日(日)に第16回広見福祉フェスティバルの開催を予定しています。ぜひお越しください。



EVENT だれでもみんな食堂後援事業

「だれでも みんな」で一緒に食事をしよう

令和6年6月から「だれでも みんな食堂」を偶数月の第3日曜日に開催しています。令和6年度は5回開催し、広見地区まちづくり協議会福祉部会では、人的・金銭的支援を含めて後援しました。子どもたちだけを対象とせず、広く広見地区住民を対象として「だれでも みんな」来ていただき、一緒に食事をしながら異なる世代と交流する場の創出も目的としています。

12月のだれでもみんな食堂では、「二代目広見カレー」を提供しました。広見小学校5年生70名と5年部の教員が、このカレーを広く

知ってもらうためのプロモーション活動を積極的に企画・実践し、多くの方が「だれでもみんな食堂」を利用する機会をつないでくれました。子どもたちが、自分が誰かの役に立っているという「自己有用感」を体感する取り組みになったことと思います。引き続き皆さんのご支援をよろしくお願いします。



君は広見カレー食べた？



(福祉部会長 佐藤 祐樹)

EVENT 広見ふれあい夏まつり

広見小学校をメイン会場として開催

令和6年7月27日(土)、広見小学校グラウンドをメイン会場に「ふれあい夏まつり」を開催しました。昨今の酷暑対策として、開催時間を15時から20時に変更するほか、役員の高齢化やなり手不足対策として炎天下や夜間に及ぶ仕事を限りなく減らし、安心・安全・持続可能なお祭りを目指しました。そのため、会場では日よけのある観覧席・飲食席なども充実させ、子どもから高齢者まで多くの皆様に長くお祭りを楽しんでもいただける環境を整えました。また、これまで商店街通りで引き回しを行っていた山車は、グラウンドの中央に固定し、安全を第一に実施いたしました。

来場者を飽きさせないよう、ダンスや演奏を中心としたステージ出演や大抽選会、盆踊り、各種出店、広見商店街「夜市」との連携など、多くのコンテンツをご用意し、楽しい夏のひとときをご提供させていただきました。一方で初めての試みも多かったため、やってみなければわからない点も多くありましたが、地域の皆さまの心温かいご支援により安全に終えることができました。

地域の皆さま、役員の皆さま、お祭りに参画していただいた関係者皆さまには、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



夏まつりってワクワクするね！

EVENT 広見スポーツ☆アートフェス

スポーツフェスティバルと文化祭を統合した新しいイベント！

令和6年10月27日(日)、広見小学校グラウンド・広見まちづくりセンターを会場に「広見スポーツ☆アートフェス」を開催しました。地域役員負担軽減の観点から、スポーツフェスティバルと文化祭を一つに統合した新しい形のイベントは、多くのご来場者に恵まれ、盛況に終えることができました。

スポーツ部門では、スポーツ体験ブースを基本にパン食い競争・広見版逃走中(鬼ごっこ)などユニークな内容も加え、子どもからお年寄りまで多くの方に楽しんでいただきました。また文化部門では、例年の展示に加えて体験型のアクティビティや子ども向けふわふわドーム、飲食出店、拡充した飲食・休憩スペースなど、来場者の皆さまにゆっくり楽しい時間を提供いたしました。

ご協力をいただきました役員や、有志の地域の皆さま、ブース出店、飲食出店に参画いただきました関係皆さま、本当にありがとうございました。



ふわふわドームは子どもたちに大人気！

EVENT どんど焼き

正月飾りや書き初めを焼き上げる地域の行事

どんど焼きとは、松の内まで飾っていた松飾りやしめ縄、お正月にしたためた書き初め、昨年に授与したお守りなどを持ち寄って燃やす地域の行事です。縁起物を燃やして、五穀豊穡、商売繁盛、家内安全、無病息災を願います。

令和7年1月12日(日)、広見小学校グラウンドにてどんど焼きを開催しました。どんど焼きで重要なことは、大きな火を作ること。今年は石坂町内会長様の指導を受け昨年より大きな火を作ることができました。また、ふれあい部会による豚汁及びお菓子の提供ありがとうございました。そして前日・当日の準備をしていただいた町内会長様、自主防災会会長様にも感謝します。

来年も盛大に実施したいと考えています。よりよくするアイデアがありましたらご提案をお願いします。



熱中、おたがい、豚汁は最高です！



(あんしん部会長 米山 公孝)

EVENT 自然と遊ぼうin広見公園

自然を楽しみながら健康になろう



令和7年3月2日(日)、広見公園・広見まちづくりセンターにて健康イベント「自然と遊ぼうin広見公園」を開催いたしました。

小学生や未就学児とその保護者総勢55名とサロンを利用されている皆さん10名で、心身の健康・地域の自然への理解や愛着・世代間

交流の促進をテーマに、散策とクラフト体験を行いました。

環境アドバイザーの小澤緑様、山田高様をお招きして実施する本事業は、昨年度に引き続き2回目となります。広見公園では、チームごとに自然や歴史にひそむ課題に取り組みながら散策をし、多くの交流が生まれていました。その後まちづくりセンターで、思い思いの素材を使ってクラフト作りに挑戦し、たくさんの素敵な作品が出来上がりました。

ご参加された皆様の笑顔により、私たち役員も楽しい時間をすごさせてもらいました。

地域の絆づくりを大切にしています



(ふれあい部会長 高木 哲士)



応募期間 令和7年3月20日～令和7年7月11日

応募資格 広見地区に関わりがある方などでも(広見地区在住・在勤・在学、広見地区が大好き、など)※未成年は保護者の同意が必要です。

募集内容 広見地区をイメージした誰かにも親しまれるキャラクターのデザインと愛称(広見地区らしさがあり、広見地区をPRできるもの)

詳しくはQRコードをチェック！

